



横浜市立一本松小学校

5月号

学校だより

平成31年4月26日
横浜市立一本松小学校
校長 小原 健人

東京オリンピック・パラリンピック教育実践校として

校長 小原 健人

校庭や野毛の山を彩る若葉が日々瑞々しく輝きを増しています。風薫る、爽やかな季節となりました。子ども達が新しい学年に進級して1か月が経ちました。教室や運動場を見ると、新しい環境で学習したり友達と交流したりする表情はキラキラと輝いています。「1年生をむかえる会」も終わり、今週の朝会は今年度初めて全校児童がそろって行われました。

4月22日の朝会は、「1年生にとって初めての朝会」でしたが、同時に「平成最後の朝会」でもありました。元号が平成から令和に変わることに、将来を見据え、何か目標を立て、スタートすることの大切さ、そして、スタートするにはよい機会となる、などと話しました。子どもたちが後になって社会で活躍する頃、「あの学習は、あの行動は、あの習慣は、令和元年から始めたんだ」と振り返ってもらえたらと思います。

東京2020オリンピック・パラリンピック 横浜市ウェブサイト
(4月14日の本校の作品も見ることができます)



さて、私たちが住む横浜では、来年オリンピック・パラリンピックを迎えます。去る4月14日には、市のホームページに本校児童が制作したカウントダウンカレンダーも掲載され、気分も盛り上がってきました。そのような中、昨年度に続き、一本松小学校は今年度も、東京オリンピック・パラリンピック競技大会実行組織委員会より、「東京2020オリンピック・パラリンピック教育実践校 ようい、ドン!スクール」に認証されました。ねらいについては昨年度もご紹介しましたが、この事業は大会への機運醸成や人材育成を目的としたスポーツ庁から依

頼されたもので、オリンピック・パラリンピックを通して、スポーツの価値への理解のみならず、思いやりや社会貢献といったボランティアマインド、共に力を合わせて生活できる共生社会の実現に向けた心情、参加する国や地域を理解する豊かな国際感覚、などを高めていくことがねらいとなっています。

昨年度は運動会などの行事、委員会活動、総合的な学習など、様々な機会にオリンピック・パラリンピックにつながる取組が見られました。パラスポーツを調べたり、体験したり、広めたりする活動を通して、共に生きる社会を築くことの大切さを学び、ゲストとしていらしたパラリンピアンからは目標をもつこと、あきらめない心の大切さを教えていただきました。2年目を迎え、さらにどのような活動ができるのか、さらに広げ、深めていきたいと思えます。

今月もご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



一本松小学校の作品
「あと467日」



横浜市ウェブサイト
2次元バーコード